



# 台湾原住民族のキョンの狩猟方法 に関する調査

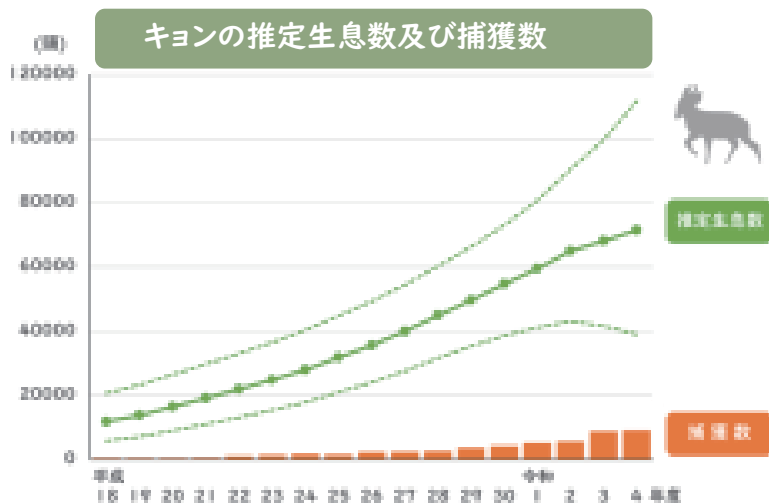
環境生活部 自然保護課 鳥獣対策班長 根本 順子  
副主幹 金城 芳典  
技師 藪原 佑樹  
中央博物館 研究員 下稲葉 さやか

## 研修期間

令和5年12月26日～令和6年1月2日(8日間)

## 背景

特定外来生物キョンは  
根絶を目指して捕獲を進めているが...



キョンの生息数の  
増加に捕獲が  
追いついていない

先進事例\*を調査し、  
効果的な捕獲方法  
の導入を図りたい

\*国内の先進事例はほぼ無い  
(東京都伊豆大島のみ)ため、  
キョんが在来種として古くから  
生息する台湾に注目

## 研修目的

①キョんが自然分布する台湾で  
原住民族が自然環境に適応して発展させてきた**猟法**を調査  
→国内での捕獲に**応用**して捕獲強化を図る

②キョんの生態や人との関わり等の**展示**等を調査  
→中央博物館の**外来種問題等の教育普及活動**等に役立てる  
→**肉・革の利活用**の可能性を探る

## 研修先

台北市、台中市、南投県、台東県の11施設

①台北市立動物園  
②台北市濱江果菜市场  
③順益台湾原住民博物館  
④九族文化村・博物館  
⑤有家山羌繁殖場  
⑥国立自然科学博物館  
⑦米巴奈山地美食坊  
⑧台東中央市場  
⑨台東卑南民族大獵祭  
⑩利百迦原住民服飾工坊  
⑩国立台湾史前文化博物館

0 25 50 km

## 調査結果①

# 台湾原住民族のキョンの狩猟方法

調査場所 | 九族文化博物館  
台東卑南大獵祭  
国立台湾史前文化博物館 等



外壁等に掲げる木製レリーフ(九族文化博物館に展示)には、キョンの狩猟(とらばさみ)が彫刻されていた

## 確認できた狩猟方法

調査方法 | 博物館の展示物や映像での確認  
台湾原住民族(プユマ族)ハンターに直接聞き取り

銃、くりわな、ボウガン、弓矢、槍、とらばさみ、網等  
→現在でもよく使われる方法は 銃・くりわな

## 千葉県での捕獲への応用の可能性

### ① くりわな猟

台湾

キョン用のくりわなを使用

→日本から持参した罟よりもワイヤーが細く作動重量が軽い



千葉県

「台湾式」を参考にくりわなの改良を検討

→最適なワイヤー太さやトリガーの作動重量の検証

### ② 銃猟

台湾

夜間銃猟を実施

→夜間にライトで照らして、獲物の目が光ったのを確認して銃で撃つ方法

千葉県

イノシシ・ニホンジカ

日本国内では法令上指定管理鳥獣のみ実施可能

→他の手法として、猟犬の活用、漁網に追い込み、暑い時期の追い立てなどの検討 ※呼び笛は情報収集を継続

## 調査結果②

# 台湾におけるキョンの生態

調査場所 | 台北市立動物園  
有家山羌繁殖場  
国立自然科学博物館 等



## 繁殖生態や餌に関する情報収集

調査方法 | 動物園職員やキョン繁殖施設管理者への聞き取り  
博物館の展示内容の確認

台湾のキョンも繁殖力が極めて高いことを確認

→高い繁殖力は千葉県の環境条件に起因するものではないと推察  
→台湾では野犬等の天敵により個体数増加が抑制されている可能性

キョンが好む餌の種類(ニンジン、サツマイモ、鶏のエサ等)を確認

イノシシも野菜を食べるが、箱わなはイノシシのいない市街地での活用を想定

千葉県

キョンが好む餌を、箱わな等の誘引餌として実用性を検証

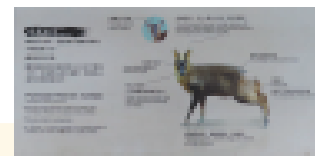
## 調査結果③

# 台湾における人とキョンの関わり

調査場所 | 台北市立動物園  
国立自然科学博物館 等

## キョンの教育普及に関する情報収集

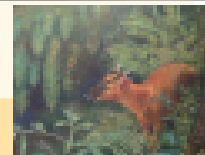
調査方法 | 動物園や博物館の展示内容の確認  
動物園職員や地元の方への聞き取り



台湾

古来より身近で、よく利用されていた

→先史時代から狩猟対象、食物や装飾品に使用、民話にも登場



千葉県

日本人向けの肉・革の利活用の可能性

→醤油味の炒め物、薬膳鍋、キーホルダーなど